

2021年12月16日

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時資料提供：近畿経済産業局記者会、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ)

大阪商工会議所 MaaSの実証実験支援 第2弾

消費者の行動変容による、都市中心部の集客回復と密回避の両立

を目指す実証実験を、**規模（エリア・店舗）を拡大して実施！**

～ 経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」選定事業 ～

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部（竹久、松本）

TEL 06-6944-6300

「MaaS 社会実装推進フォーラム」を運営する大阪商工会議所は、近畿経済産業局などとともにMaaSの社会実装に向けた消費者の行動変容に関する実証実験を12月17日～1月31日に梅田・京橋地区の商業施設で実施する。

同実証実験は、11月12日～12月5日に梅田の「HEP FIVE」で実施した実証実験*で得られた知見をふまえ、エリア・店舗など規模を拡大して実施。コロナ禍における「集客回復」と「密回避」という相反する命題の解決に向け、インセンティブ付与により来客数を回復させるとともに、店舗への来訪時間帯のピークシフトによる時間的な分散と、公共交通やマイクロモビリティの利用によって行動範囲をターミナル駅周辺から分散させるという空間的な分散を組み合わせる形で密を回避することが狙い。経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」に選定され実施するもの。

【実証実験内容】

<期間>12月17日（金）～1月31日（月）

<場所>梅田・京橋地区のアパレル協力店舗（「HEP FIVE」内等）

<内容>オフピーク時間帯に店舗・商業施設を来訪した方に特典を付与することで、来訪時間帯のピークシフトを促す。また、ターミナル駅周辺に集中しがちな行動範囲の分散を促すため、公共交通やマイクロモビリティの利用券を配布する。これらのインセンティブ付与を通じて、集客回復と密回避の両立を目指す。

（同実証実験では、専用アプリを通じてピーク時間を知らせたり、アプリから得られる行動データなどをもとに実際に行動変容がどの程度生じたかを検証するため、アプリのダウンロードが必須となる。）

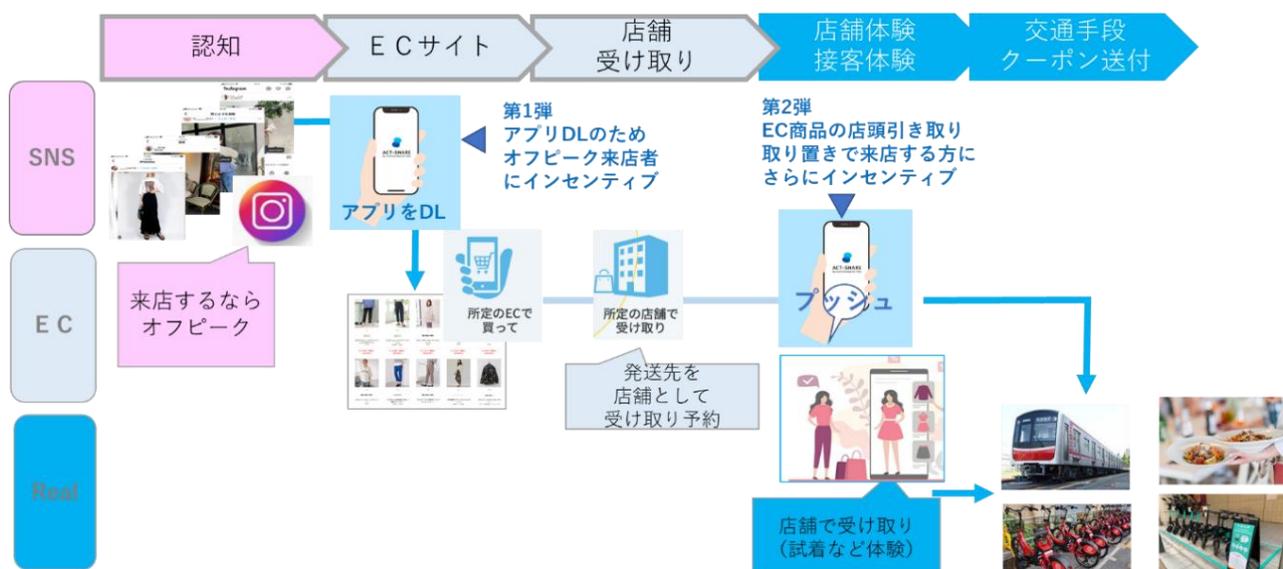
<実施体制>

代表団体：大阪商工会議所、(株)ADKマーケティング・ソリューションズ

参加団体：(株)アーバンリサーチ、エイチ・ツー・オー リテイリング(株)、大阪ガス(株)、大阪府高速電気軌道(株)、京阪ホールディングス(株)、(株)シグマックス、(株)竹中工務店、(株)ドコモ・バイクシェア、阪急阪神不動産(株)、(株)りそな銀行、(株)Luup

協力自治体：大阪府、大阪市

※「HEP FIVE」内のアパレルショップのECサイトで購入した商品を、オフピーク時間帯に店頭で引き取ると、「HEP FIVE」内の飲食店で使用可能な飲食クーポンを発行。専用アプリで収集する行動データをもとに、実際に行動変容がどの程度生じたか、実店舗の密回避と集客・消費回復を両立させることができたかを検証することを目的に11月12日～12月5日に実施した。



【大阪商工会議所の取り組み】

- 大阪商工会議所では、次世代の交通サービスとして期待される「MaaS (Mobility as a Service)」に関心を有する企業・団体 (2021年12月現在、270社) をメンバーとする「MaaS社会実装推進フォーラム」を運営し、企業規模の垣根を越えた連携の創出および「2025年大阪・関西万博」を見据えたスムーズな地域内移動に貢献できるMaaSの構築を目指している。今後もMaaSの社会実装に向けた、具体的な企業連携や実証実験を支援していく。

<案内サイト>

<https://actionssharing.org/osaka/camp.html>



以上